

平成 28 年 度

新潟県放射線監視センター年報

第 15 卷

平成 29 年 12 月

新潟県放射線監視センター

は じ め に

新潟県放射線監視センターは、7基の沸騰水型原子炉(合計821.2万kW)を有する柏崎刈羽原子力発電所周辺の環境放射線監視を目的として設置され、柏崎市に本所、新潟市に新潟分室を配置して環境放射線モニタリング、調査研究等の業務を行っています。

福島第一原子力発電所事故以降、緊急時対応の考え方が大きく変わりました。放射線モニタリングに関わることは、原子力災害対策を重点的に行う区域が発電所から概ね30kmに広がり、国は実測値により防護措置実施を判断するとしております。

これらに対応するため、当県では、平成24～25年度に発電所から概ね10km～30kmの範囲にモニタリングポスト17局を増設し、また、平成27年度から3年計画でUPZ地域126カ所に緊急時用の放射線測定器の設置を進めています。

事故・災害は時を選んでくれません。県では、いかなる場合にも備え、緊急時用に設置した放射線測定器を常時稼働させて、状態を把握できるようにしています。あわせて、空間放射線量率の時系列変化を面的に把握することも可能となります。この変化の特徴を分析・把握して調査研究に活用することは、異常を見逃さないこと、放射線の変化についてわかりやすく情報発信すること、そして職員の技術・能力の向上というソフト面の充実につながっています。今後も常在戦場の心構えで、職員一同研鑽を積んでまいりたいと考えております。

このたび、平成28年度の業務及び調査研究の成果を取りまとめた新潟県放射線監視センター年報第15巻を発刊しましたので、お届けいたします。

平成29年12月

新潟県放射線監視センター所長
諏 訪 成 雄

目 次

I 業務報告編

1 運 営	3
1・1 沿 革	3
1・2 施設・設備の概要	3
1・3 組 織	6
1・4 予算・決算	7
1・5 主 要 備 品	8
1・6 行 事	9
1・7 外部委員会等への参画	10
1・8 外部団体からの表彰	10
2 業務概要	11
2・1 柏崎刈羽原子力発電所周辺環境放射線監視調査	11
2・2 環境放射能水準調査	13
2・3 県内全域バックグラウンド調査	16
2・4 調査研究業務	17
2・5 その他の業務	19

II 研究報告編

1 研究報告	23
【研究報告】	
1) 新潟県における長半減期放射性核種分布調査（第5報）	25
2) 新潟県内における in-situ（現地）測定法による放射能調査	35
3) 環境場に長期間設置した蛍光ガラス線量計のレスポンス低下について	43
【技術報告】	
1) 津南町に自生するコシアブラ及び生育地土壌の放射性セシウム濃度調査	51
2) 新潟県内における大気中のベリリウム7濃度	57
3) 蛍光ガラス線量計の更新に係る技術的検討	61
2 他誌発表	70
3 学会等発表	70

III 資料編

新潟県放射線監視センター年報 研究報告編投稿規程	73
新潟県放射線監視センター年報 研究報告編執筆要領	74